

令和3年度

西小だより

10月28日号

瑞穂市立西小学校

実りの秋です

小学校の授業の中で、植物を育てる学習があります。春に種などをまいて観察をしてきました。秋になって1年生では、朝顔の種を取った後のつるを使ってリースづくりを予定しています。2年生ではサツマイモを植えて芋を掘り出しました。このような収穫の前に、つるをはずしたり葉やつるを刈り取ったりします。大事な場面の前に手間がかかる準備を済ませてこそ、大きな収穫があります。

延期していた修学旅行を間近に控えて、6年生は法隆寺や東大寺など見学先について調べたことを壁新聞にまとめ、学級の中で発表を聞きあい交流しました。これも大事な場面の前の準備です。大きな収穫のために、前もって時間をかけて準備をした6年生がどんな収穫を得るのか楽しみです。



「もしも…」に備えよう 「私たちにできることは何？」 防災キャンプ

10月22日(金)と23日(土)に、5、6年生を対象に模擬避難所体験学習(防災キャンプ)が開催されました。一日目22日の5時間目から、「瑞穂市の防災対策について(市民協働安全課の方からの講話)」「防災倉庫内にある物品・非常食の確認」「避難時の生活スペースの確保、防災パーティションの設置」「簡易炊き出し訓練(青少年育成推進員の指導によるポリ袋だけを使った洗米・炊飯体験と夕食)」「紙パックを切り抜いた灯ろう製作」「避難所での生活について(レスキューストックヤード代表理事 栗田暢之様からの講話)」「自治会長引率による地域集合場所から西小学校への移動」「防災体験 初期消火訓練(瑞穂消防署単南分署の消防署員による水消火器を使用した消火訓練)、簡易担架作成と運搬訓練(保護者ボランティアによる物干し竿と毛布を利用した簡易担架の作り方訓練)、三角巾による救急処置(日本赤十字岐阜県支部員と保護者ボランティアによる三角巾を使用した緊急処置訓練)、身近なものを着火剤とした火起こし体験(校長と理科支援員によるワセリンを塗ったコットンパフにキャンプで使うファイヤースターターで火をつける体験)」と盛りだくさんの体験学習を行いました。

夜遅くの講話でも姿勢よく聞き質問をしている姿や、細かな作業にも集中して取り組む姿がたくさん見られました。2日間を振り返った感想を紹介します。

私が栗田さんの話で一番心に残っている話は、2つあります。一つ目は、高2の男の子の話です。この話では、地震の怖さはもちろん、地域の助け合いが大事ということを学びました。この話を聞いた後、私は目に涙を浮かべていました。これが地震。人々の命を奪い、人々の心を暗くさせる。なんとも悲しいことだと思いました。二つ目は、「ボランティア」の話です。ダンボールベッド、食事の世話、高齢者の支え、ポスター作りなど子どもでもできることは災害時でも積極的に行っていきます。

この体験学習を行うにあたって、市長さんや役所の方をはじめ、自治会長さんやボランティアの方と、とても多くの方にお力添えをいただきました。このご厚意に応えるためにも、この学びをこれからの生活にぜひとも生かしていきましょう。

